

第483回 番組審議会

1. 日 時 平成25年2月19日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 12名
出席委員 10名

委員 長	望月 善次
委員	坂本 修
委員	柴田 和子
委員	池田 克典
委員	吉江 信博
委員	鈴木 正之
委員	平 英一
委員	遠藤 雅也
委員	國分 正人
委員	千葉 隆史

欠席委員 2名

副委員 長	福田 泰司
委員	村川 健一

社側出席者	檜崎 憲二 (代表取締役社長)
	矢後 勝洋 (特別顧問)
	山口 英二 (常務取締役)
	淵沢 行則 (取締役報道制作局長)
	野田 喜代志 (報道制作局次長)
	桑島 広実 (報道制作局制作部副部長)

事務局	遠藤 隆 (編成技術局長)
	畠 義真 (編成技術局次長)
	平山 亜希子 (編成技術局編成部主任)

4. 議 題

1. 平成 25 年 1/26 (土) 10:30~11:25 放送

「イズム～岩手をアツくするアスリートたち～」

2. その他

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側意見

- 高校生と大学生のチーム紹介。全国大会に出場したものの十分ではない結果だった。苦い思いも伝わってきた。努力の課程も伝わった。見やすいし良い番組だった。4チーム紹介。時間も十分。スポーツに特化しているが、岩手の文化活動などを紹介する番組も考えてほしい。
- アスリートだけでなく指導者がすばらしい。今問題となっている体罰とは無縁。根性ではなく淡々とやっている盛岡女子高の生徒たちが良く表現されている。番組最後の日本ハムファイターズ大谷君の姿が良かった。
- 盛岡女子高の駅伝はトンネルが雪の日の練習場ということに驚いた。駅伝は個人のタイムの積み重ね。個人の合計かと思っていたが、強さはチームが一つになったこと。これが指摘されている。あくまでも団体競技、チーム競技ということを出したのが良かった。サッカーはふつうの中継に映らないロッカールームのやりとりが新鮮だった。特に監督の慰めの言葉は、我々も仕事でうまく行かなかったときに部下にどうやって声をかけるのか勉強になった。
- 女子駅伝を紹介するのなら男子駅伝は紹介しないのか。バレーも女子があるのなら男子はどうか。見たかった。全体的に良いと思ったのは自主性が重んじられている点。体罰が問題になっている中タイムリーだった。
- 気になったのはクラブ以外の生活の様子がない。家族の支援の様子も知りたかった。富士大学野球部を取り上げるのなら青木監督の人間性を掘り下げてほしかった。
- 非常に清涼感あふれる良い番組だった。よく考えて構成したのかもしれないが淡々と奇をてらうことなく構成されていて良かった。監督と選手の師弟関係を示すのにこねくり回す必要はない。家庭と子供が一体となってと言う話題が多い中、今回の番組は家族が出なくて良かった。

テレビ岩手側意見

- 私学は選手をいろいろな地域から集めてくることできる。当初私学だからできることは何かという番組を作ろうと思ったが、大会の映像や試合の後の選手たちの表情を撮ったらその方が魅力的だったので路線変更をした。そのため番組に矛盾を生じた部分があったのかも知れない。
- ディレクター3人で作ったので、ところどころ出身校が出たり出なかったり統一感が欠

けてしまった。

- 選手たちの汗と涙で1校あたり10分は使ってしまい、寮の生活のシーンや家族のコメントは落としてしまった。それで選手の生活が描けなかった部分もある。
- 今後は、2016年岩手国体があるので国体を目指す中学生を取材したい。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関係部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

平成25年2月26日（火）（午前11時45分～11時52分放送）で、審議の概要を放送。

- ・ 支社、支局に議事録を設置。
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公表。